

項農林水産業施設災害復旧費は、支出済額299万8,957円で、平成22年7月豪雨災害復旧事業の支出となっております。

次に、12款公債費は、支出済額15億5,521万7,155円で予算執行率は99.9%、前年度対比では10.4%減であり、歳出総額に占める構成比率は12.5%となっております。

次に、246ページをお開き願います。13款予備費は、既決予算額のうち476万454円を、各款の緊急を要する修繕料等に充用いたしております。

次に、14款諸支出金は、支出済額2億7,800万円で、長井商工会議所保有の土地取得費となっております。

歳出合計は124億6,945万4,096円で、予算執行率は94.4%、前年度対比では10.4%増となっております。

次に、実質収支に関する調書でございますが、375ページをお開き願います。3の歳入歳出差し引き額は4億4,422万7,939円であります。5の実質収支額は、翌年度に繰り越すべき財源を差し引きました4億291万8,949円となっております。

なお、平成22年度と21年度の実質収支の差額であります単年度収支は1億7,788万998円であり、実質単年度収支につきましては、財政調整基金積み立て、市債の繰上償還が黒字要素でありますので、合計いたしまして6億5,625万8,883円の黒字となっております。

以上が平成22年度一般会計歳入歳出決算の計数等の概要でございます。ご審査の上、ご認定賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○町田義昭委員長 次に、認第1号の平成22年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算及び平成22年度長井市老人保健医療費給付事業特別会計歳入歳出決算並びに平成22年度長井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の3件について。

宇津木正紀市民課長。

○宇津木正紀市民課長 平成22年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書の7ページをお開き願います。歳入合計でございますが、収入済額が26億982万3,397円で、調定額に対する収入率は90.2%でございます。

次ページをお開き願います。歳出合計額は25億4,228万7,006円で、前年度より0.6%の増額となっております。単年度収支は、名目上は6,753万6,391円でございますが、平成21年度からの繰越金と基金繰入金を加味いたしますと、22年度の単年度収支はマイナス7,656万3,818円となりまして、前年度に引き続き実質赤字決算となりました。

それでは、事項別明細書によりましてご説明いたしますので、250ページをお開き願います。

歳入でございますが、1款国民健康保険税の収入済額は5億7,113万1,703円で歳入総額の21.9%を占め、前年度比10.9%の減となりました。1項1目一般被保険者国民健康保険税の収入済額は5億215万4,030円で、前年度に比べて12.0%の減額となりました。これは被保険者数の減少、それからリストラ等による国保加入者の所得を前年度の3割しか見ないこと、また、リーマンショック時の加入者の所得はゼロになっていることなどによるものでございます。2目退職被保険者国民健康保険税の収入済額は6,897万7,673円で、前年度比1.4%の減となっております。

252ページをお開き願います。2款使用料及び手数料の収入済額は40万1,250円で、保険税の督促手数料でございます。

3款国庫支出金は6億1,663万7,380円で、歳入総額の23.6%を占めており、前年度比11.4%の増でございます。1項1目療養給付費等負担金4億5,185万3,771円でありまして、前年度よ

+

り5.8%の増、2目の高額医療費共同事業負担金は1,145万5,369円で、80万円を超える医療費について、県全体の共同事業として対応する制度でございます。3目特定健康診査等負担金は253万2,000円で、前年度比20.9%の増です。254ページをお開き願います。2項1目財政調整交付金は1億4,991万8,000円で、市町村の財政力の均衡を調整するために交付されるものです。2目出産育児一時金補助金は、21年10月から始められた補助制度でございます。3目円滑事業費補助金は、70歳から74歳までの高齢受給者証の発行に係る補助金であります。

4款療養給付費交付金は1億8,378万2,405円で、歳入総額の7.0%を占め、1項1目療養給付費交付金は、支払基金から退職被保険者の医療費分として交付されるものです。2目の退職被保険者に係る交付金は、退職被保険者に係る老人保健拠出金プラス後期高齢者支援金相当額でございます。

5款前期高齢者交付金は5億6,883万137円で、歳入総額の21.8%を占め、前年度比9.8%の減であります。

次の256ページをお開き願います。6款1項1目高額医療費共同事業負担金は1,145万5,369円で、国庫支出金の共同事業負担金と同額であります。2目特定健康診査等負担金は241万5,000円で53.9%の増、2項1目財政調整交付金は療養給付費の約7%、1億947万円でございます。

7款1項共同事業交付金は国保連合会から交付されるもので、1項1目高額医療費共同事業交付金は4,028万8,472円で、80万円を超える医療費の59%が交付されるものでございます。2目保険財政安定化事業交付金は2億3,429万7,200円で、30万円を超え80万円未満の医療費に対する交付金です。

8款財産収入は26万7,662円で、給付基金積立金利子でございます。

9款繰入金は1億7,765万1,564円で、歳入総額の6.8%を占め、1項1目一般会計繰入金は、保険税の軽減などとして繰り入れたものでございます。258ページをお開き願います。2項給付基金繰入金の6,000万円は、歳入不足が見込まれましたので、給付基金を取り崩して繰り入れたものでございます。

10款繰越金は8,319万309円で、歳入総額の3.2%であります。

11款諸収入は1,000万4,946円で、1項延滞金は保険税の延滞金。次の260ページをお開きください。3項1目は一般被保険者の交通事故等の医療費に伴う第三者納付金、3目一般被保険者返納金は24万7,354円、5目の雑入は516万6,324円で、主なものは償還金でございます。

262ページをごらんいただきたいと思っております。歳入でございますが、1款総務費は3,061万8,839円で、歳出総額の1.2%です。1項1目一般管理費の主なものは、電算関係の委託料でございます。2目連合会負担金は国保連合会の負担金でありまして、2項1目賦課徴収費の主なものは国保税の賦課徴収の郵便料でございます。次の264ページをお開き願います。3項1目運営協議会費は、前年度比19.3%の経費削減に努めました。4項1目趣旨普及費は、国保制度普及啓蒙のための印刷製本費などです。5項1目収納率向上特別対策事業費は、嘱託徴収員1名を雇用して対応してまいりました。

2款保険給付費は17億6,112万6,940円で、歳出総額の69.3%を占め、前年度より1.2%の増額となりました。1項療養諸費は15億7,202万5,853円で、対前年度比4.3%の増となりました。次の266ページをお開きください。2項高額療養費は1億7,467万1,087円で、対前年度比7.3%の増でございます。次の268ページをお開き願います。4項出産育児諸費は29件分の出産育児一時金でございます。5項葬祭諸費は45件の葬祭費でございます。

3 款後期高齢者支援金等は 2 億 8,986 万 3,839 円で、歳出総額の 11.4% を占めており、対前年度比 9.9% の減となっております。

4 款前期高齢者支援金等は 50 万 5,999 円で、前年度比 44.7% の減となりました。

次の 270 ページをお開き願います。5 款老人保健拠出金は 296 万 5,053 円で、対前年度比約 294 万円の増となりました。

6 款介護納付金は 1 億 3,735 万 708 円で、歳出総額の 5.4% を占めており、11% の増となっております。

7 款共同事業拠出金は 2 億 9,688 万 8,295 円で、歳出総額の 11.7% を占め、過去の交付実績や被保険者数に応じて高額医療共同事業拠出金を国保連合会に拠出するものでございます。

272 ページをお開き願います。8 款保健事業費は 1,606 万 2,780 円で、対前年度比 7.6% の増額となっております。1 項特定健康診査等事業費は 1,410 万 4,767 円で、7.7% の増額となりました。2 項保健事業費は 7.6% の増額となっております。

274 ページをお開き願います。11 款諸支出金は 690 万 4,553 円で、1 項償還金及び還付加算金は、一般及び退職被保険者への過年度保険税の還付金でございます。2 項貸付金は 237 万 8,000 円、3 項指定公費給付金は 16 万 2,991 円でございます。

国保のほうは以上でございます。

前に戻っていただきまして、13 ページをお開き願います。13 ページの平成 22 年度長井市老人保健医療費給付事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

本会計は、平成 20 年度から後期高齢者医療制度の開始によりまして、22 年度が最終の会計年度となりました。歳入合計は、調定額、収入済額とも 244 万 4,709 円で、対前年度比 86.6% の減となりました。

次の 14 ページをお開き願います。歳出合計は、

支出済額 244 万 4,709 円で、前年度に比べて 87.9% の減となりました。

それでは、292 ページをお開き願います。歳入でございますが、1 款支払基金交付金は 141 万 1,678 円で、総額の 57.7% を占め、1 項 1 目医療費交付金は 141 万 1,456 円で、支払基金から交付を受けたものでございます。2 目審査支払手数料交付金は、レセプト点検などに要する経費に交付を受けたものでございます。

2 款 1 項国庫負担金は 77 万 2,588 円で、歳入総額の 31.6% を占めており、老人医療費過年度国庫負担金でございます。

4 款 1 項一般会計繰入金は 17 万 6,095 円で、医療費として一般会計から繰り入れるものでございます。

次の 294 ページをお開き願います。6 款諸収入は 8 万 4,348 円で、3 項 2 目返納金でございます。

次に、歳出でございますが、296 ページをお開き願います。2 項医療諸費は 52 万 443 円で、歳出総額の 21.3% を占め、対前年度比 77.5% の減となりました。主なものは 1 項 1 目医療給付費で、医療機関などに診療報酬として支払ったものでございます。

4 款前年度繰上充用金 192 万 4,266 円は、21 年度の不足額でございます。

次に、後期高齢者医療特別会計決算についてご説明申し上げますので、もう一度 27 ページにお戻りいただきたいと思っております。27 ページ、平成 22 年度長井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

歳入合計でございますが、収入済額は 2 億 7,435 万 9,111 円で、前年度と比べまして 1.6% の増となりました。

次のページをお開き願います。歳出合計額は 2 億 7,047 万 1,460 円で、前年度に比べまして 1.7% の増となりました。

それでは、事項別明細書によりましてご説明

+

申し上げますので、366ページをお開き願います。

歳入でございますが、1款後期高齢者医療保険料は1億6,757万6,300円で、歳入総額の61.1%を占めております。1項1目特別徴収保険料は、還付未済額を除きますと収納率100%、2目普通徴収保険料は現年度収納率は97.0%でございます。

2款使用料及び手数料は6万600円で、1項2目の督促手数料でございます。

3款繰入金は9,971万2,703円で、歳入総額の36.3%を占め、1項1目事務費繰入金2,104万6,058円の主なものは、後期高齢者医療広域連合負担金でございます。2目一般会計繰入金7,866万6,645円は保険料軽減相当分で、県が4分の2、市が4分の1の負担割合でございます。

4款繰越金は418万3,600円で、歳入総額の1.5%、前年度比は7.7%の減でございます。

5款諸収入は282万5,907円。368ページをお開き願います。1項1目延滞金は5,900円、2項1目保険料還付金は52万5,800円、4項1目雑入229万4,207円は、過年度分後期高齢者医療広域連合事務費精算金でございます。

次に、歳出についてご説明申し上げますので、370ページをお開き願います。1款総務費は522万7,161円で、歳出総額の1.9%を占め、1項1目一般管理費の37万1,073円の主なものは郵便料でございます。2項徴収費485万6,088円の主なものは電算業務委託料でございます。

2款後期高齢者医療広域連合納付金の2億6,508万2,699円は、歳出総額の98.0%を占め、保険料等分として1億6,823万8,250円、保険基金安定制度分として7,866万6,645円、事務費分として1,817万7,804円を後期高齢者医療広域連合に支払っているものでございます。

3款諸支出金16万1,600円は、1項1目の保険料還付金でございます。

以上でございます。よろしく審査の上、ご承

認賜りますようお願い申し上げます。

○町田義昭委員長 次に、認第1号の平成22年度長井市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算及び平成22年度長井市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算並びに平成22年度長井市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の3件について。

鈴木要一郎上下水道課長。

○鈴木要一郎上下水道課長 おはようございます。

それでは、平成22年度長井市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書の11ページをごらんください。初めに、歳入につきましては、収入済額合計は14億9,961万5,397円で、前年度対比11億8,420万5,435円、44.1%の減となり、調定額に対し98.9%となっております。

12ページをお開き願います。歳出につきましては、支出済額合計は14億9,845万5,444円で、前年度対比11億8,483万3,786円で44.2%の減となり、主に管渠工事や長期債繰上償還元金の減少などによるものでございます。翌年度繰越額については、東日本大震災の影響に伴い管渠工事費分の繰越明許費でございます。予算現額に対する執行率は99.0%となっております。

歳入歳出差し引き額115万9,953円は、翌年度に繰り越しをさせていただいて決算といたしたところでございます。

278ページをお開き願います。事項別明細書によりご説明申し上げます。

歳入につきましては、1款分担金及び負担金、1項1目下水道受益者負担金、収入済額は2,644万2,210円で、歳入総額の1.8%となっております。収納率は現年度分で94.9%、滞納繰越分で10.6%となっております。

2款使用料及び手数料、1項1目下水道使用料につきましては、収入済額は前年度対比約527万円の増の2億9,247万6,301円で、歳入総額の19.5%となっております。収納率は現年度

分で98.3%、滞納繰越分で45.0%となっております。また、不納欠損額は32件で40万2,553円が生じております。これは、転出後、行方不明などにより時効となったものなど、収入不可能と判断しまして不納欠損処分とさせていただいたものでございます。2目下水道使用料は40万3,480円で、3款国庫支出金は、1項1目下水道事業費国庫補助金は社会資本整備総合交付金汚水処理施設整備交付金など1億2,486万1,000円で、収入総額の8.3%となっております。

4款繰入金、1項1目一般会計繰入金は5億8,545万1,000円で、歳入総額の39.0%となっております。

280ページをお開き願います。5款繰越金、1項1目繰越金は前年度の繰越金53万1,602円で、6款諸収入、1項1目延滞金は受益者負担金の1万1,100円、3項1目雑入は231万7,224円で、備考欄、有価物売却収入126万7,434円については、公共下水道管理センター更新工事により発生しました鉄類を売却したものでございます。

7款市債、1項1目下水道事業債につきましては4億6,710万円で、歳入総額の31.1%となっております。

282ページをお開き願います。歳出につきましてご説明申し上げます。1款1項公共下水道事業費につきましては、支出済額4億4,128万8,331円で、予算現額に対する執行率は96.9%となっております。うち1目公共下水道総務費は5,278万8,213円で、主なものといたしまして、職員人件費、下水道使用料徴収等事務及び電算処理業務などの委託料、置広共同処理事務分担金や排水設備等設置改造資金利子補給金、その他関係諸団体の負担金などがございます。2目公共下水道事業費は3億678万6,218円で、主なものとしまして、職員人件費に、258ページをごらんください、備考欄で公共下水道管理センター改築更新工事委託料1億3,130万円、その

ほか実施設計業務、下水道基本計画策定業務、下水道台帳整備業務などの委託料、また、汚水管路布設及び舗装復旧工事など14件分の工事請負費のほか、下水道工事に伴う上水道移転補償費などがございます。

なお、公共下水道管理センター改築更新工事については、沈砂池及び主ポンプ設備の更新を21年、22年度の2カ年で実施いたしました。また、汚水管路布設工事は、台町、四ッ谷、中道、緑町、草岡、五十川地区で実施いたしまして、平成22年度末の整備率は91.1%に達しております。

次に、286ページをごらんください。3目管渠管理費は782万1,832円で、マンホール及び下水道取り付け管等の補修工事費、幹線水路のしゅんせつ工事費などがございます。4目管理センター費は7,389万2,068円で、主なものといたしまして、備考欄の汚泥の濃縮及び消臭用の薬品費や、処理施設の光熱水費に管理センター運転保守点検業務委託料3,263万4,000円及び脱水ケーキ処分委託料1,989万2,520円など、その他管理センターの管理及び設備機械等の清掃、点検等の委託料でございます。

288ページをお開き願います。2款1項公債費につきましては、10億5,716万7,113円で、1目元金は長期債償還元金の8億3,510万6,423円で、2目利子は長期債利子の2億2,206万690円でございます。

以上が平成22年度長井市公共下水道事業特別会計の歳入歳出決算の概要でございます。

続きまして、17ページをお開き願います。平成22年度長井市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

歳入につきましては、収入済額合計が1億4,598万4,586円で前年度対比7,757万1,473円、34.7%の減で、調定額に対し98.1%となっております。

18ページをお開きください。歳出につきまし

ては、支出済額合計1億4,547万8,010円で前年度対比7,757万7,582円、34.8%の減となり、長期債償還元金の減少などによるものでございます。予算現額に対する執行率は98.1%となっております。

歳入歳出差し引き額50万6,576円は翌年度に繰り越しをさせていただき、決算といたしたところでございます。

308ページをお開き願います。事項別明細書によりご説明申し上げます。

歳入につきましては、1款分担金及び負担金、1項1目農業集落排水事業分担金は、新規加入者がなく収入はゼロでございます。

2款使用料及び手数料、1項1目施設使用料につきましては、収入済額は前年度対比184万2,000円増の5,584万559円で、今泉地区、大久保地区処理施設使用料でございます。収納率は現年度分で96.2%、滞納繰越分68.2%となったところでございます。また、不納欠損額、5件で17万5,074円が生じており、転出後、行方不明などにより時効となったものを収入不可能と判断しまして不納欠損処分とさせていただいたものでございます。

3款繰入金、1項1目一般会計繰入金は6,941万円で、歳入総額の47.5%となっております。

4款繰越金は前年度の繰越金50万467円で、5款諸収入の23万1,000円は、310ページをお開き願います、3項1目雑入で、今泉地区排水施設の窓ガラス破損事故による建物総合損害共済災害共済金でございます。

6款市債、1項1目下水道事業債につきましては2,000万円で、歳入総額の13.7%となっております。

続いて、歳出についてご説明申し上げます。312ページをお開き願います。1款1項農業集落排水事業費につきましては、支出済額4,122万1,368円で、予算現額に対する執行率は

93.9%でございます。うち1目農業集落排水事業総務費は1,161万7,864円で、主なものといたしまして、職員人件費、使用料徴収等事務委託料、公課費として消費税納付額などがございます。2目今泉排水施設運営費は1,722万6,682円で、処理施設の光熱水費及び修繕料並びに運轉管理業務委託料などが主なものでございます。3目大久保排水施設運営費は1,237万6,822円で、処理施設の光熱水費及び管理運轉業務委託料などがございます。

314ページをお開き願います。2款1項公債費につきましては1億425万6,642円で、1目元金は長期債償還元金で7,031万7,433円、2目利子は長期債利子の3,393万9,209円でございます。

以上が農業集落排水特別会計決算の概要でございます。

続きまして、23ページをお開き願います。平成22年度長井市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

歳入につきましては、収入済額合計が8,475万5,479円で、前年度対比148万554円、1.8%の増となり、調定額に対して100%となっております。

24ページをお開き願います。歳出につきましては、支出済額合計8,425万5,005円で、前年度対比149万4,816円、1.8%の増となり、予算現額に対する執行率は99.1%となっております。

歳入歳出差し引き額50万474円は、翌年度に繰り越しをさせていただき、決算といたしたところでございます。

350ページをお開き願います。事項別明細書によりご説明申し上げます。

歳入につきましては、1款分担金及び負担金、1項1目浄化槽事業分担金は、収入済額777万円で、収入率は100%でございます。

2款使用料及び手数料、1項1目浄化槽使用料につきましては、収入済額1,911万6,930円で、収納率100%でございます。

3 款国庫支出金、1 項 1 目特定地域生活排水処理事業国庫補助金は2,321万9,000円で、歳入総額の27.4%となっております。

4 款繰入金、1 項 1 目一般会計繰入金は1,099万7,000円で、歳入総額の13.3%となっております。

5 款繰越金は前年度の繰越金51万4,736円で、6 款諸収入の63万4,313円は、352ページをお開き願います、3 項 1 目雑入の消費税還付金でございます。

7 款市債、1 項 1 目下水道事業債につきましては2,250万円で、歳入総額の26.5%となっております。

続いて、歳出についてご説明申し上げます。354ページをお開き願います。1 款 1 項浄化槽事業費につきましては、支出済額7,935万6,281円で、予算現額に対する執行率は99.1%でございます。うち 1 目浄化槽事業総務費は1,765万7,358円で、主なもので浄化槽点検手数料及び浄化槽保守点検清掃委託料などがございます。2 目浄化槽事業費は6,169万8,923円で、主なもので浄化槽設置工事費、30件、48基分で4,867万2,750円、放流ポンプ等設置補助金、5 件分で25万円、そのほか職員の人件費などがございます。

2 款 1 項公債費につきましては489万8,724円で、1 目元金は長期債償還元金63万5,966円、2 目利子は長期債利子の426万2,758円でございます。

以上が浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。

よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

○町田義昭委員長 次に、認第 1 号の平成22年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算について。

遠藤健司企画調整課長。

○遠藤健司企画調整課長 平成22年度長井市山形

鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書の15ページをお開きください。まず、歳入合計でございますが、収入済額は、予算現額と比較いたしまして402万6,798円減の1億3,007万3,202円でございます。歳入の項目といたしましては、負担金、基金の財産運用収入、一般会計及び基金からの繰入金となっております。

次に、16ページをごらんください。歳出合計でございますが、支出済額は、予算現額と比較いたしまして1,052万6,798円減の1億2,357万3,202円でございます。内訳としましては、山形鉄道助成費、基金積立金でございます。

歳入歳出差引残額650万円でございます。

次に、事項別明細書によりご説明を申し上げます。

302ページをお開きください。歳入についてご説明申し上げます。1 款分担金及び負担金、1 項 1 目山形鉄道運営助成費負担金につきましては、収入済額4,398万円で、県及び沿線自治体の財政支援に基づくものでございます。

2 款財産収入、1 項 1 目利子及び配当金につきましては、収入済額 7 万3,202円で、基金運用による利子でございます。

3 款繰入金につきましては、収入済額8,602万円で、3 款 1 項 1 目一般会計繰入金1,602万円は、長井市の山形鉄道運営助成費負担金負担分を一般会計から繰り入れたものでございます。3 款 2 項 1 目基金繰入金7,000万円は、山形鉄道運営助成費相当額を基金より繰り入れたものでございます。

次に、歳出についてご説明申し上げます。304ページをお開きください。1 款山形鉄道助成費、運営助成費につきましては、支出済額6,350万円で、県及びフラワー長井線沿線の自治体の財政支援の方針に基づき助成したものでございます。対前年度比約15.3%の減となっております。これは山形鉄道株式会社が J R 東日

本の特別乗車券販売企画に参加し、その結果、鉄道収入が増加し、収益に貢献したことが主な原因です。

2款基金積立金につきましては、支出済額6,007万3,202円で、その内訳は、山形県と沿線自治体からの負担金4,398万円、長井市一般会計からの繰入金1,602万円、基金の運用利子7万3,202円を積み立てるものでございます。

以上が平成22年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、認定賜りますようお願い申し上げます。

○町田義昭委員長 次に、認第1号の平成22年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算について。

松木幸嗣健康課長。

○松木幸嗣健康課長 平成22年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書19ページをお開き願います。初めに、歳入でございますが、収入済額合計は前年度比106万9,839円、5.7%増の1,974万775円でございます。収入の内訳につきましては、療養費交付金、利用料、県補助金、一般会計繰入金、繰越金、雑入でございます。

次ページ、20ページをお開きください。歳出といたしましては、事業費として支出済額が前年度比106万9,933円、5.8%増の1,964万491円でございます。

歳入歳出の差し引き残額10万284円を翌年度に繰り越しさせていただくものでございます。

次に、事項別明細によりましてご説明申し上げます。

318ページをお開きください。歳入でございますが、1款1項療養費交付金、1目訪問看護費交付金は、収入済額1,174万4,982円でございます。前年度に比べまして50万8,970円、4.5%の増となりました。内訳といたしまして、

介護保険分716万8,057円、医療保険分457万6,925円でございます。訪問看護延べ回数は1,310回で、前年度に比べまして25回、1.9%の増となりました。

2款1項1目利用料、収入済額は104万7,916円でございます。内訳は、介護保険、医療保険の利用者負担分と保険外の交通費等でございます。こちらは前年度に比べまして2万6,882円、2.5%の減でございます。

3款1項1目訪問看護費県補助金、収入済額は161万7,399円で皆増でございます。山形県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業費補助金です。

4款1項1目一般会計繰入金、収入済額は522万9,000円で、前年度に比べまして103万1,000円、16.5%の減でございます。

5款1項1目繰越金は10万378円でございます。

6款諸収入、1項1目雑入は1,100円でございます。国保協力金でございます。

次に、歳出についてご説明申し上げます。322ページをお開きください。1款1項事業費、1目訪問看護事業費、支出済額1,964万491円の内訳は、2節、3節、4節につきましては、職員の給料、職員手当と教材費でございます。7節賃金391万6,927円につきましては、定時補助職員及びパートの看護師3名と、山形県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業対象の定時補助職員1名の雇い上げ賃金でございます。11節需用費41万8,463円は、公用車の修理代及び燃料費、医療材料費、消耗品などでございます。12節役務費30万7,838円は、電話料、訪問看護サービス情報公開手数料、看護時の衣服クリーニング手数料等でございます。13節委託料1万3,451円は、定時補助職員健康診査料でございます。14節使用料及び賃借料でございますが、29万3,239円は、請求事務、看護情報等に利用しております訪問看護支援ソフトのリース料等でございます。19節負担金補助及び交付金1万円は、

山形県内の訪問看護ステーションで組織しております訪問看護ステーション連絡協議会の年会費等でございます。27節公課費1万5,200円は、訪問看護公用車2台の重量税でございます。

以上、22年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算の概要につきましてご説明申し上げます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

○町田義昭委員長 次に、認第1号の平成22年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算について。

小泉良一福祉生活あんしん課長。

○小泉良一福祉生活あんしん課長 平成22年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明を申し上げます。

決算書の21ページをお開き願いたいと存じます。歳入合計は、収入済額で前年度比0.4%減の25億132万7,563円で、調定額に対する収入率は99.4%となっております。

次に、22ページをお開き願います。歳出合計は、支出済額で前年度比0.8%増の24億8,690万548円でございます。

歳入歳出差引残額1,442万7,015円は、平成23年度に繰り越しをし、決算といたしたものでございます。

以下、事項別明細書によりご説明申し上げますので、326ページをお開き願います。

1款介護保険料は、収入済額4億2,139万8,810円で、調定額に対する収納率は96.7%で、歳入総額の16.8%を占めております。対前年度比は0.9%の減であり、前年度に比べ収納率が0.1%向上したものの、調定額の減少により収入額が減少いたしました。

2款使用料及び手数料は7万550円で、介護保険料の督促手数料でございます。

3款国庫支出金は6億1,088万8,867円で、歳入総額の24.4%を占めております。1項国庫負担金は4億1,790万9,835円で、保険給付費に対する国の法定負担分でございます。2項国庫補

助金は1億9,297万9,032円で、高齢者所得の割合などに応じて交付を受けた調整交付金と地域支援事業交付金でございます。

328ページをお開き願います。4款支払基金交付金は7億1,482万3,000円で、歳入総額の28.6%を占めており、保険給付費及び地域支援事業費に対する2号被保険者の法定負担分として、社会保険診療報酬支払基金から交付を受けたものでございます。

5款県支出金は3億6,409万8,314円で、歳入総額の14.6%を占めており、1項県負担金は3億5,218万7,565円で、保険給付費に対する県の法定負担分でございます。2項県補助金は1,119万749円で、地域支援事業費に対する県の法定負担分として交付を受けたものでございます。

6款財産収入は33万629円で、介護給付費準備基金積立金1億9,779万285円に対する利子収入でございます。

7款繰入金は3億4,336万5,618円で、歳入総額の13.7%を占めております。1項1目介護給付費繰入金2億9,556万7,338円は保険給付費に対する市の法定負担分として、330ページをお開きください、2目地域支援事業繰入金1,447万1,324円は地域支援事業費に対する法定負担分として、3目その他一般会計繰入金2,676万9,956円は、総務管理費、賦課徴収費などの事務費経費として繰り入れしたものでございます。2項2目基金繰入金は、21年度に積み立てした介護従事者処遇改善臨時特例基金繰入金で、22年度分の655万7,000円を繰り入れしたものでございます。

8款諸収入、1項延滞金、加算金及び過料は10万1,639円で、1号被保険者の介護保険料の延滞金でございます。2目雑入は48万4,990円で、交通事故による第三者納付金及び生活管理指導員派遣等、地域支援事業利用者負担金などでございます。

332ページをお開きください。9款繰越金は4,576万5,146円で、平成21年度会計から繰り越したものでございます。

次に、歳出についてご説明を申し上げます。334ページをお開きください。1款総務費は2,684万8,706円で、前年度と比較しまして12.5%の増でございます。1項総務管理費は717万404円で、介護保険の電算業務などの一般事務経費でございます。前年度比10.6%の減となりました。2項徴収費は103万5,988円で、前年度比1.0%の減となりました。3項介護認定審査会費は1,856万3,564円で、1目介護認定審査会費、2目認定調査費、334ページをお開きください、3目主治医意見書費の事務経費でございます。前年度比30.5%の増となりました。4項趣旨普及費は7万8,750円、5項地域ケア包括会議費の支出はございませんでした。

2款保険給付費は23億6,476万4,898円で、歳出総額の95.1%を占めており、前年度比2.4%の増となっております。1項介護サービス等諸費は21億1,983万9,537円で、居宅介護サービス給付費、地域密着型介護サービス給付費、施設介護サービス給付費等、要介護認定受給者の保険給付費でございます。前年度比3.6%の増となりましたが、これは要介護認定者の増加によるものであります。2項介護予防サービス等諸費は1億2,705万5,712円で、要支援認定受給者の保険給付費でございます。要支援認定者の減少などにより、前年度比14.5%の減となりました。338ページをお開きください。3項その他諸費298万6,105円は、国保団体連合会に対して支払った審査支払手数料でございます。4項高額介護サービス等費は3,489万7,880円で、3,467件支給しております。5項高額医療合算介護サービス等費は246万3,208円で、医療及び介護利用者の負担を軽減する措置で一定の上限を超える額を支給するものであり、21年度から給付が始まった制度でございます。6項特別短

期入所サービス費の支出はございませんでした。7項特定入所者介護サービス等費は7,752万2,456円で、施設サービス利用時の居住費、食費負担等、低所得者の軽減分を補てんするための給付でございます。

3款財政安定化基金拠出金は、県内保険者の財政運営が安定しており、基金からの資金貸し付けを受けることがなく基金が十分に確保されていることから、拠出金の支出はございませんでした。

4款地域支援事業費は7,558万181円で、340ページをお開きください、介護予防の推進や地域における包括・継続的なマネジメント機能を強化するための事業費でございます。1項介護予防事業費は3,556万268円で、足腰若がえり教室や栄養バランス教室などの特定高齢者、あるいは地域介護予防支援事業、ふれあいサロンやミニデイサービス事業などの一般高齢者を対象とした介護予防事業でございます。

342ページをごらんください。2項包括的支援事業・任意事業費は4,001万9,913円で、介護状態にならないようにするための予防プランの作成、権利擁護をはじめとする総合相談や、344ページをお開きください、任意事業としての高齢者見守りお伺いコール事業や食の自立支援配食サービス事業などの長井市独自の生活支援事業などがございます。

5款基金積立金は539万5,000円で、介護給付費準備基金等に積み立てたものでございます。

6款諸支出金は1,431万1,763円で、保険料の過年度還付金及び介護給付費負担金の精算による償還金でございます。

346ページをお開きください。7款予備費の支出はございませんでした。

以上、決算の概要についてご説明を申し上げます。よろしくご審査の上、ご承認賜りますようお願いを申し上げます。

○町田義昭委員長 次に、認第1号の平成22年度

長井市用地特別会計歳入歳出決算について。

平 英一財政課長。

○平 英一財政課長 平成22年度長井市用地特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書の25ページをお開きください。歳入の収入済額は、予算現額と比較いたしまして800円減の3億501万1,200円でございます。

26ページをお開きください。次に、歳出でございますが、支出済額は、予算現額と比較いたしまして800円減の3億501万1,200円で、歳入歳出同額となっております。

この用地特別会計につきましては、平成17年度に運動公園用地として生涯学習プラザ東の土地の5万9,621平方メートルを土地開発公社から買収するため起こした特別会計でございます。買収に当たっては、公共用地先行取得事業債3億80万円を充当して、10年間の元金据え置きで、10年後、平成26年度までに一括返済の予定で借り入れいたしておりましたが、23年度、今年度からの運動公園整備着工に伴いまして元金を一括返済するために、22年度の3月定例議会におきまして元金分3億80万円を追加補正計上して、22年度末で一括返済を行いました。これによりまして特別会計の役目を終了いたしまして、22年度をもちまして特別会計を廃止いたしましたものでございます。

それでは、事項別明細によりご説明いたしますので、360ページをごらんいただきたいと思います。

まず、歳入、1款1項一般会計繰入金は、平成17年度に運動公園整備事業用地取得の財源として借り入れました3億80万円の償還金元金及び利子の財源として、3億501万1,200円を一般会計から繰り入れいたしましたものでございます。

362ページをお開きください。歳出でございますが、1款1項公債費、1目利子は、長期債利子421万1,200円の支出、それから2目は長期

債元金3億80万円の支出であります。

以上が用地特別会計の決算概要でございます。よろしくご承認賜りますようお願い申し上げます。

○町田義昭委員長 ここで昼食のため暫時休憩いたします。

再開は午後1時といたします。

午前 11時49分 休憩

午後 1時00分 再開

○町田義昭委員長 休憩前に復し、午前に引き続き会議を再開いたします。

認第2号 平成22年度長井市水道事業会計決算認定について

+

○町田義昭委員長 認第2号 平成22年度長井市水道事業会計決算認定についての1件について。鈴木要一郎上下水道課長。

○鈴木要一郎上下水道課長 認第2号 平成22年度長井市水道事業会計決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書399ページをお開き願います。なお、以降、水道ページで申し上げます。

それでは、決算報告書からご説明申し上げます。これは、予算額に対する決算額の対比を消費税込みで記載しております。

初めに、収益的収入及び支出につきましては、収入の第1款水道事業収益の決算額は6億5,224万8,035円で、予算額に対し366万6,955円の減となっております。一方、支出の第1款水道事業費用の決算額は6億3,112万1,357円で、予算額に対し957万7,643円の不用額となりまし

た。

水道2ページをお開き願います。資本的収入及び支出につきましては、収入の第1款資本的収入決算額は2億2,904万9,975円で、予算額に対し230万2,025円の減となりました。

水道3ページをごらんください。支出の第1款資本的支出の決算額は4億8,147万690円で、予算額に対し1,729万320円の不用額となりました。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額2億5,242万705円は、当年度消費税及び地方消費税、資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金をもって補てんをさせていただきました。

続いて、水道4ページをお開き願います。損益計算書により、経営状況についてご説明申し上げます。

なお、詳細につきましては、後ほど収益費用明細書にてご説明申し上げます。

営業収益につきましては6億2,021万1,848円で、対前年度比274万8,822円、0.4%の増となり、主に収益の根幹となる給水収益において約336万円増加したことによるものでございます。営業費用につきましては4億8,758万335円で、対前年度比56万4,433円、0.1%の増となり、これは浄水及び配給水費や業務及び総係費、資産減耗費などが減少となったものの、清水町浄配水場更新事業の完成に伴い建設仮勘定から本勘定として費用化したことによりまして、減価償却費が約3,529万円増加したことによるものでございます。このことから、営業利益は前年度対比218万4,389円、1.7%増の1億3,263万1,513円となりました。

次に、水道5ページ、営業外収益については135万5,429円、営業外費用については1億2,009万5,195円となりました。当年度損益につきましては、営業及び営業外を合わせた経常収益6億2,156万7,277円に対し、経常費用は6億

767万5,530円で、差し引き1,389万1,747円の経常利益となりました。

なお、経常収支比率は、前年度と同じ102.3%となっております。経常利益から特別損失の238万9,955円を差し引いた当年度純利益につきましては1,150万1,792円で、前年度より212万7,992円増の黒字決算で終了いたすことができました。また、当年度繰越利益剰余金2,556万9,339円を加えた当年度未処分利益剰余金につきましては、3,707万1,131円となったところでございます。

水道9ページをお開き願います。ただいま損益計算書で申しあげました当年度未処分利益剰余金の処分案でございます。減債積立金に60万円を積み立てまして、翌年度繰越利益剰余金を3,647万1,131円といたす案でございます。

次に、水道10ページをお開き願います。貸借対照表により、財産状況につきましてご説明申し上げます。資産の総額については、固定資産と流動資産を合わせて85億7,904万6,345円で、前年度と比べ5,056万5,246円、0.6%の増加となっております。これは主に、有形固定資産において、清水町浄配水場の完成に伴い建設仮勘定7億3,439万8,158円が皆減となり、無形固定資産のダム使用权7億4,734万7,186円の皆増や、次ページの流動資産の現金及び預金で8,386万2,087円が増加となったことによるものでございます。一方、負債資本合計では、前年度に比べ流動負債合計で8万1,862円、0.1%の増、資本金合計で1,512万2,640円、0.3%の減、水道12ページの剰余金合計で6,160万6,025円、2.7%の増となっており、負債資本合計につきましては85億7,904万6,345円で、資産の総額と一致いたしております。

続きまして、水道41ページをお開き願います。収益費用明細書にてご説明申し上げます。

初めに、収益でございますが、1款水道事業収益の総額は6億2,156万7,277円で、前年度対

比160万3,733円、0.3%の増となりました。1款1項営業収益は6億2,021万1,848円で、前年度対比274万8,822円の増となりました。内訳といたしまして、1目給水収益は営業収益の96.8%を占め、6億24万6,196円で、前年度より336万5,055円、0.6%の増となり、これは昨年夏の猛暑の影響もあり、水需要が増加し、収入の増加につながったというふうにとらえております。2目加入金は、前年度と比べ約227万円減の379万円で、新規加入50件、口径変更26件ございました。4目その他営業収益については1,373万1,252円で、各種手数料や消火栓施設及び修繕など、次ページをお願いします、一般会計からの負担金、受託金の下水道及び農集使用料収納業務委託料などでございます。5目他会計繰入金は、公共下水道工事に伴う給水管布設替工事費の244万4,400円でございます。

次に、2項営業外収益につきましては、受取利息、雑収益、県補助金合わせて135万5,429円でございます。

水道43ページをごらんください。次に、費用でございます。1款水道事業費用の総額は6億1,006万5,485円で、前年度対比52万4,259円、0.1%の減となりました。1項営業費用は4億8,758万335円、前年度対比56万4,433円の減となりました。内訳につきましては、1目浄水及び配給水費は1億1,698万3,222円で、職員人件費のほか各施設の管理業務などの委託料4,893万1,401円や、排水施設などの修繕費1,705万3,167円、水道44ページ、下水道工事に伴う給水管布設替工事費232万8,000円、各浄水場中継場などの動力費2,461万8,620円などの費用でございます。1目の計で、前年度より543万5,813円の減となり、委託料や修繕費など減少したことによるものでございます。

飛ばしまして、3目業務及び総係費は5,329万3,535円で、前年度に比べ1,736万2,850円の減となりました。人件費や電算業務委託料の減

によるものでございます。主なものとしまして、職員人件費、次ページの電算業務などの委託料679万8,326円、納付金等の取扱手数料180万4,596円、会計システム機器の賃借料159万8,566円などでございます。

水道46ページをお開きください。4目減価償却費は2億9,369万6,247円で、営業費用の60.2%を占め、前年度より3,529万4,459円の増で、主に清水町浄配水場更新工事の完成に伴い、本年度より建設仮勘定として費用化したことによるものでございます。5目資産減耗費は2,360万7,331円で、石綿セメント管更新工事及び平山浄水場、高圧受変電設備更新工事、また、揚水機交換などによる固定資産除却費でございます。前年度より1,193万1,363円の減となりました。2項営業外費用につきましては、企業債の支払い利息及び雑支出を合わせて1億2,009万5,195円でございます。前年度対比113万9,869円の増となりました。3項特別損失については、冬期水道料金精算還付金、不納欠損処分金など238万9,955円でございます。

なお、不納欠損処分につきましては、水道料金に係るもので17年度分62件で、転出後、所在不明、会社倒産、自己破産、時効などにより回収不能と判断し、不納欠損処分させていただいたものでございます。

次に、水道47ページをごらんください。資本的収支明細書についてご説明申し上げます。

初めに、収入でございますが、第1款資本的収入の総額は2億2,904万9,975円で、前年度対比1億2,416万6,975円、35.2%の減となりました。内訳につきましては、1項企業債は備考欄の各事業費に充てられたもので、1億6,180万円、前年度より9,220万円の減、2項分担金及び負担金は、消火栓設置工事に伴う一般会計負担金で204万7,500円、3項国庫補助金は、長井ダムへの補助金及び石綿セメント管更新事業補助金で5,566万8,000円、前年度より1,134万

+

5,000円の減、4項その他補償金は、公共下水道事業及びその他事業に伴う配水管布設替補償費575万6,475円、5項出資金は377万8,000円で、地方公営企業法の繰出基準に基づき、一般会計から繰り入れしていただいたものでございます。

水道48ページをお開き願います。支出でございますが、第1款資本的支出の総額は4億6,897万7,539円で、前年度より4億6,215万9,168円、49.6%の減となり、これは主に、前年度において清水町浄配水場更新事業が完了したことによるものでございます。内訳につきましては、1項建設改良費といたしまして、1目事務費は建設に関する人件費などでございます。2目第4次拡張事業費は2億1,796万5,761円で、前年度より2億593万3,262円の減でございます。内容につきましては、石綿セメント管更新事業、平山浄水場高圧受変電設備更新事業などを実施いたしましたものでございます。

なお、石綿セメント管更新事業については、本年度工事をもって計画更新総延長30.2キロメートルを完了することができました。

水道49ページをごらんください。3目水源開発費は1,294万9,028円で、長井ダム使用権に係る負担金及び企業債利息でございます。長井ダムが本年3月に完成し、負担金についても終了となっております。昭和63年から負担してまいりまして、総額で7億5,067万2,000円となったところでございます。4目配水施設整備費は2,052万4,804円で、県・市道関連工事に伴う配水管布設替工事を実施いたしました。5目資産購入費は、量水器の購入費24万1,350円でございます。2項1目企業債償還金につきましては1億8,070万640円で、前年度と比べ1億8,377万4,908円の減となり、平成21年度で公的資金補償金免除繰上償還が皆減となったことによるものでございます。

以上、平成22年度長井市水道事業会計決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認

定賜りますようお願い申し上げます。

平成22年度長井市各会計決算に関する総括質疑

○町田義昭委員長 以上で概要の説明が終わりました。

これより質疑を行います。

ここで総括質疑の発言通告がありますので、順次ご指名いたします。

高橋孝夫委員の総括質疑

○町田義昭委員長 順位1番、議席番号13番、高橋孝夫委員。

○13番 高橋孝夫委員 私は、市民生活の向上を願いながら総括質疑を行います。2点について順次質問申し上げますので、それぞれ明快な答弁をいただきますようお願いを申し上げます。

質問の第1は、地域の拠点である自治公民館の充実を図ることが必要と思うがについて、お伺いをいたします。

長井市内には87の自治公民館がありまして、それぞれ当該の地域でこの運営をされているということはお案内のとおりです。詳しくは、この前いただきました平成23年度版の「長井市の教育」、この冊子の最後のほうに、90何ページからかなり詳しく記載をされております。

当該の地域ごとにこの運営をされているわけですが、行政との関係もこれはあるわけで、平成22年度の決算でも自治公民館に対して補助などの支出がなされております。平成22年度の決算の主要な施策の成果報告書、これによります